

岐阜商工会議所

岐阜市管内景況調査報告書

2021 年度 第1・四半期

(2021 年 4 月～6 月)

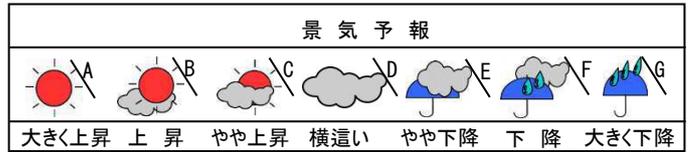
目 次

業種別特徴点と景気予報	1
業種別今期の景況及び来期予測	2
製 造 業	2
卸 売 業	4
小 売 業	6
建 設 業	8
サービス業	10
総 括	12
中小企業景況調査 転記表	15
特別企画「飲食業の倒産動向調査」	25
調査の概要	30
用語の解説	30

岐阜商工会議所

委託機関 株式会社 東京商工リサーチ

業種別特徴点と景気予報



製 造 業



業況は極端に改善した。売上（加工）額は減少幅が極端に縮小し、採算（経常利益）は減少幅がかなり縮小した。製品在庫数量は不足感がかなり強まった。従業員は増加に転じた。資金繰りは前期並となった。

卸 売 業



業況は極端に改善した。売上額は減少幅が極端に縮小し、採算（経常利益）は減少幅がかなり縮小した。商品在庫数量は不足感がやや強まった。従業員は増加幅がやや縮小し適正水準となった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

小 売 業



業況はかなり改善した。売上額、採算（経常利益）はともに減少幅が極端に縮小した。商品在庫数量は不足感がかなり強まった。従業員は減少幅がかなり拡大した。資金繰りは厳しさがやや増した。

建 設 業



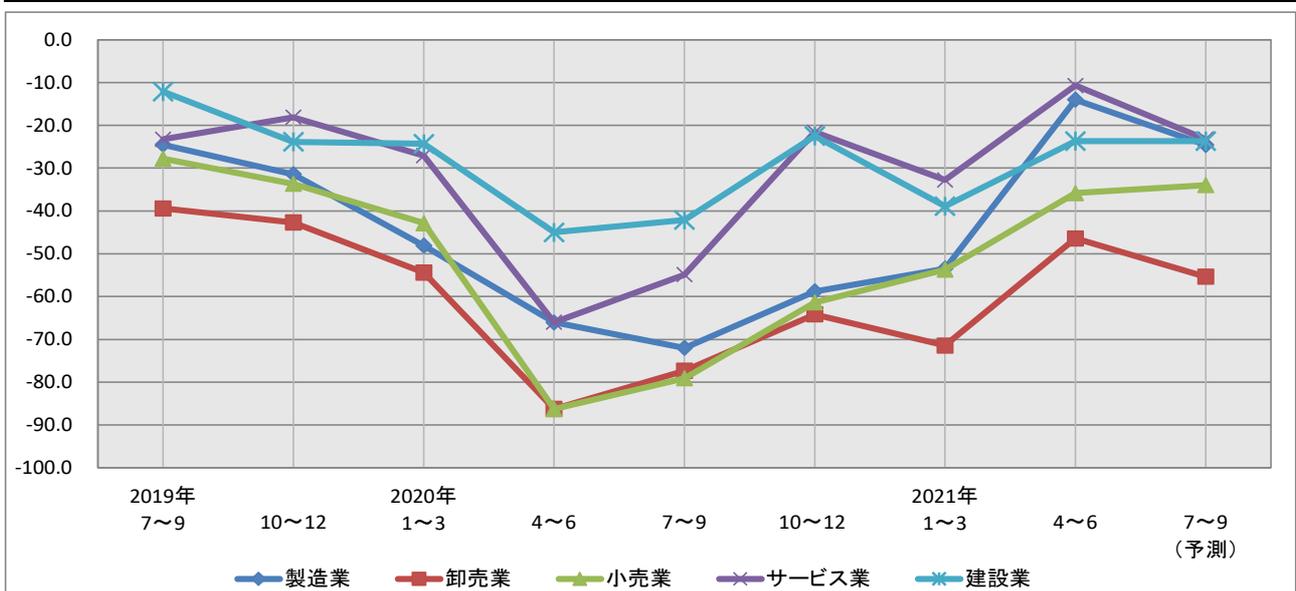
業況はかなり改善した。完成工事（請負工事）額は減少幅がかなり縮小し、採算（経常利益）は減少幅がやや縮小した。従業員は増加に転じた。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

サービスマ業



業況は極端に改善した。売上（収入）額、採算（経常利益）はともに減少幅がかなり縮小した。従業員は増加幅がやや拡大した。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



業種別今期の景況及び来期予測

製造業



業況・売上（加工）額・採算（経常利益）

業況（ $\Delta 53 \rightarrow \Delta 14$ ）は極端に改善した。売上（加工）額（ $\Delta 60 \rightarrow \Delta 30$ ）は減少幅が極端に縮小し、採算（経常利益）（ $\Delta 52 \rightarrow \Delta 40$ ）は減少幅がかなり縮小した。

製品在庫数量・従業員

製品在庫数量（ $\Delta 9 \rightarrow \Delta 26$ ）は不足感がかなり強まった。従業員（ $\Delta 12 \rightarrow 5$ ）は増加に転じた。

資金繰り

資金繰り（ $\Delta 24 \rightarrow \Delta 23$ ）は前期並となった。

経営上の問題点

経営上の問題点として1位に挙げられたのは、「需要の停滞」が35.1%と最も高く、次いで「原材料価格の上昇」「熟練技術者の確保難」がともに10.5%、「人件費の増加」が8.8%となっている。

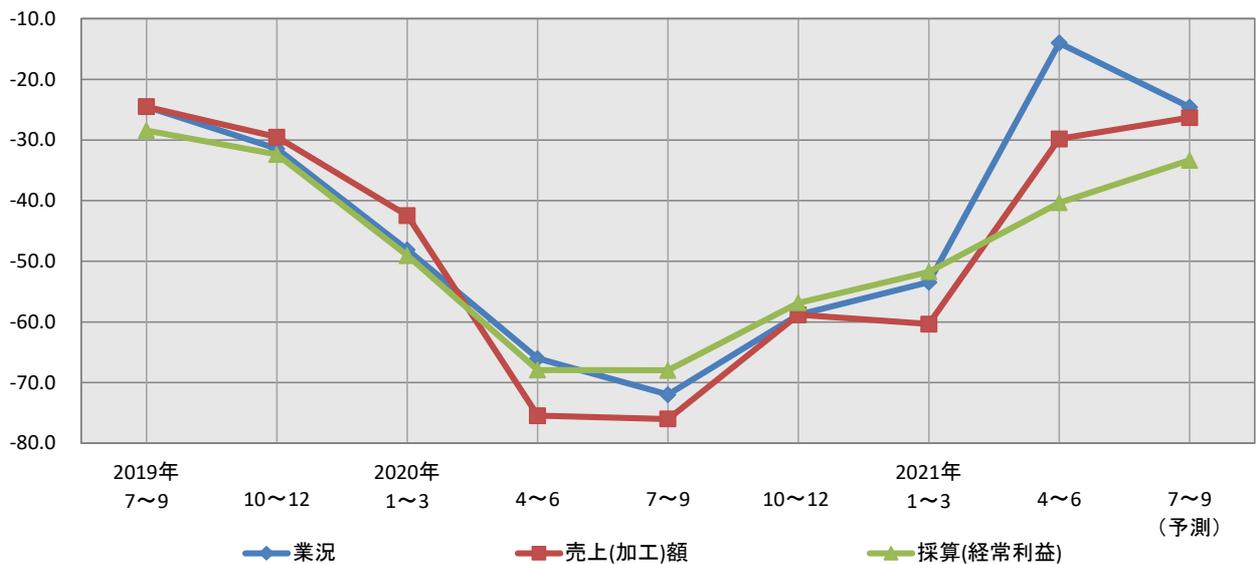
2位では「原材料価格の上昇」が20.5%と最も高く、次いで「製品ニーズの変化への対応」「人件費の増加」「需要の停滞」がいずれも11.4%、「生産設備の不足・老朽化」が9.1%となっている。

3位では「生産設備の不足・老朽化」が21.6%と最も高く、次いで「製品（加工）単価の低下・上昇難」が13.5%、「原材料価格の上昇」「原材料費・人件費以外の経費の増加」「従業員の確保難」がいずれも10.8%となっている。

来期の見通し

業況（ $\Delta 14 \rightarrow \Delta 25$ ）は低調感がかなり強まる見込み。売上（加工）額（ $\Delta 30 \rightarrow \Delta 26$ ）は減少幅がやや縮小し、採算（経常利益）（ $\Delta 40 \rightarrow \Delta 33$ ）は減少幅がかなり縮小すると予想されている。

製造業 業況と売上（加工）額・採算（経常利益）の実績と予想の推移



製造業 経営上の問題点（％）

	2020年7~9月期		2020年10~12月期		2021年1~3月期		2021年4~6月期	
第1位	需要の停滞	50.0 %	需要の停滞	45.1 %	需要の停滞	36.2 %	需要の停滞	35.1 %
	原材料価格の上昇	10.0 %	生産設備の不足・老朽化	11.8 %	生産設備の不足・老朽化	10.3 %	原材料価格の上昇	10.5 %
	生産設備の不足・老朽化	8.0 %	人件費の増加	11.8 %	熟練技術者の確保難	10.3 %	熟練技術者の確保難	10.5 %
第2位	原材料価格の上昇	22.5 %	製品ニーズの変化への対応	5.9 %	人件費の増加	8.6 %	人件費の増加	8.8 %
	製品(加工)単価の低下・上昇難	15.0 %	原材料価格の上昇	18.9 %	原材料価格の上昇	20.9 %	原材料価格の上昇	20.5 %
	製品ニーズの変化への対応	12.5 %	製品(加工)単価の低下・上昇難	16.2 %	生産設備の不足・老朽化	18.6 %	製品ニーズの変化への対応	11.4 %
第3位	従業員の確保難	16.1 %	従業員の確保難	13.5 %	需要の停滞	16.3 %	生産設備の不足・老朽化	9.1 %
	製品ニーズの変化への対応	12.9 %	原材料費・人件費以外の経費の増加	15.4 %	製品(加工)単価の低下・上昇難	21.2 %	生産設備の不足・老朽化	21.6 %
	人件費の増加	12.9 %	従業員の確保難	11.5 %	原材料価格の上昇	12.1 %	製品(加工)単価の低下・上昇難	13.5 %
	製品(加工)単価の低下・上昇難	12.9 %	需要の停滞	11.5 %	需要の停滞	12.1 %		
	生産設備の不足・老朽化	9.7 %	熟練技術者の確保難	11.5 %	製品ニーズの変化への対応	9.1 %	原材料価格の上昇	10.8 %
	熟練技術者の確保難	9.7 %	需要の停滞	11.5 %	生産設備の不足・老朽化	9.1 %	原材料費・人件費以外の経費の増加	10.8 %
					従業員の確保難	9.1 %	従業員の確保難	10.8 %
				熟練技術者の確保難	9.1 %			

製造業 経営上の問題点 具体的内容コメント

1. コロナ。(2件)
2. 固定費率の上昇。
3. PRが行いにくい。コロナの為、動きにくい。

卸 売 業



業況・売上額・採算（経常利益）

業況（ $\Delta 71 \rightarrow \Delta 46$ ）は極端に改善した。売上額（ $\Delta 68 \rightarrow \Delta 43$ ）は減少幅が極端に縮小し、採算（経常利益）（ $\Delta 57 \rightarrow \Delta 48$ ）は減少幅がかなり縮小した。

商品在庫数量・従業員

商品在庫数量（ $\Delta 18 \rightarrow \Delta 20$ ）は不足感がやや強まった。従業員（ $4 \rightarrow 0$ ）は増加幅がやや縮小し適正水準となった。

資金繰り

資金繰り（ $\Delta 41 \rightarrow \Delta 30$ ）は厳しさがかなり和らいだ。

経営上の問題点

経営上の問題点として1位に挙げられたのは、「需要の停滞」が41.1%と最も高く、次いで「仕入単価の上昇」が14.3%、「人件費の増加」が7.1%となっている。なお、「その他」が7.1%となっている。

2位では「販売単価の低下・上昇難」が26.0%と最も高く、次いで「仕入単価の上昇」が24.0%、「需要の停滞」が22.0%となっている。

3位では「人件費以外の経費の増加」「需要の停滞」がともに15.0%と最も高く、次いで「販売単価の低下・上昇難」が12.5%、「仕入単価の上昇」が10.0%となっている。

来期の見通し

業況（ $\Delta 46 \rightarrow \Delta 55$ ）は低調感がかなり強まる見込み。売上額（ $\Delta 43 \rightarrow \Delta 55$ ）、採算（経常利益）（ $\Delta 48 \rightarrow \Delta 66$ ）はともに減少幅がかなり拡大すると予想されている。

卸売業 業況と売上額・採算（経常利益）の実績と予想の推移



卸売業 経営上の問題点 (%)

	2020年7~9月期		2020年10~12月期		2021年1~3月期		2021年4~6月期		
第1位	需要の停滞	49.1 %	需要の停滞	52.8 %	需要の停滞	55.4 %	需要の停滞	41.1 %	
	仕入単価の上昇	9.4 %	販売単価の低下・上昇難	9.4 %	販売単価の低下・上昇難	8.9 %	仕入単価の上昇	14.3 %	
	メーカーの進出による競争の激化	5.7 %	従業員の確保難	5.7 %	仕入単価の上昇	7.1 %	人件費の増加	7.1 %	
	販売単価の低下・上昇難	5.7 %							
第2位	販売単価の低下・上昇難	25.0 %	販売単価の低下・上昇難	23.4 %	販売単価の低下・上昇難	28.6 %	販売単価の低下・上昇難	26.0 %	
	仕入単価の上昇	16.7 %	仕入単価の上昇	21.3 %	仕入単価の上昇	18.4 %	仕入単価の上昇	24.0 %	
	需要の停滞	16.7 %			需要の停滞	18.4 %			
	人件費の増加	10.4 %	需要の停滞	14.9 %	人件費以外の経費の増加	8.2 %	需要の停滞	22.0 %	
第3位	仕入単価の上昇	25.0 %	販売単価の低下・上昇難	26.2 %	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	12.2 %	人件費以外の経費の増加	15.0 %	
					人件費以外の経費の増加	12.2 %	需要の停滞	15.0 %	
					従業員の確保難	12.2 %			
					需要の停滞	12.2 %			
	販売単価の低下・上昇難	15.0 %	人件費以外の経費の増加	16.7 %	販売単価の低下・上昇難	9.8 %	販売単価の低下・上昇難	12.5 %	
			仕入単価の上昇	16.7 %	仕入単価の上昇	9.8 %			
		店舗・倉庫の狭隘・老朽化	10.0 %	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	9.5 %	メーカーの進出による競争の激化	4.9 %	仕入単価の上昇	10.0 %
		人件費以外の経費の増加	10.0 %			新規参入業者の増加	4.9 %		
						代金回収の悪化	4.9 %		
						事業資金の借入難	4.9 %		

卸売業 経営上の問題点 具体的内容コメント

1. コロナ。(2件)
2. コロナ禍による店頭への来客大幅減。
3. 売上減少（コロナ）。
4. コロナによる小売店の休業。

小 売 業



業況・売上額・採算（経常利益）

業況（ $\Delta 54 \rightarrow \Delta 36$ ）はかなり改善した。売上額（ $\Delta 65 \rightarrow \Delta 38$ ）、採算（経常利益）（ $\Delta 57 \rightarrow \Delta 36$ ）はともに減少幅が極端に縮小した。

商品在庫数量・従業員

商品在庫数量（ $\Delta 19 \rightarrow \Delta 26$ ）は不足感がかなり強まった。従業員（ $\Delta 2 \rightarrow \Delta 8$ ）は減少幅がかなり拡大した。

資金繰り

資金繰り（ $\Delta 44 \rightarrow \Delta 47$ ）は厳しさがやや増した。

経営上の問題点

経営上の問題点として1位に挙げられたのは、「需要の停滞」が24.5%と最も高く、次いで「消費者ニーズの変化への対応」が11.3%、「仕入単価の上昇」が7.5%となっている。なお、「その他」が13.2%となっている。

2位では「販売単価の低下・上昇難」が27.3%と最も高く、次いで、「消費者ニーズの変化への対応」が21.2%、「需要の停滞」が15.2%となっている。

3位では「需要の停滞」が30.8%と最も高く、次いで「消費者ニーズの変化への対応」が19.2%、「店舗の狭隘・老朽化」「人件費の増加」「人件費以外の経費の増加」がいずれも7.7%となっている。なお、「その他」が11.5%となっている。

来期の見通し

業況（ $\Delta 36 \rightarrow \Delta 34$ ）はやや改善する見込み。売上額（ $\Delta 38 \rightarrow \Delta 32$ ）は減少幅がかなり縮小し、採算（経常利益）（ $\Delta 36 \rightarrow \Delta 36$ ）は今期並と予想されている。

小売業 業況と売上額・採算（経常利益）の実績と予想の推移



小売業 経営上の問題点（％）

	2020年7~9月期		2020年10~12月期		2021年1~3月期		2021年4~6月期	
第1位	需要の停滞	37.2 %	需要の停滞	25.0 %	需要の停滞	31.5 %	需要の停滞	24.5 %
	消費者ニーズの変化への対応	7.0 %	消費者ニーズの変化への対応	13.6 %	消費者ニーズの変化への対応	13.0 %	消費者ニーズの変化への対応	11.3 %
	店舗の狭隘・老朽化	7.0 %						
	販売単価の低下・上昇難	7.0 %						
	大型店・中型店の進出による競争の激化	4.7 %	店舗の狭隘・老朽化	11.4 %	店舗の狭隘・老朽化	7.4 %	仕入単価の上昇	7.5 %
			販売単価の低下・上昇難	7.4 %	販売単価の低下・上昇難	7.4 %		
第2位	販売単価の低下・上昇難	35.5 %	販売単価の低下・上昇難	21.9 %	消費者ニーズの変化への対応	27.9 %	販売単価の低下・上昇難	27.3 %
	需要の停滞	12.9 %	需要の停滞	18.8 %	販売単価の低下・上昇難	16.3 %	消費者ニーズの変化への対応	21.2 %
	消費者ニーズの変化への対応	9.7 %	消費者ニーズの変化への対応	15.6 %	需要の停滞	14.0 %	需要の停滞	15.2 %
	店舗の狭隘・老朽化	9.7 %						
第3位	消費者ニーズの変化への対応	24.0 %	消費者ニーズの変化への対応	24.0 %	消費者ニーズの変化への対応	19.4 %	需要の停滞	30.8 %
	需要の停滞	16.0 %	需要の停滞	20.0 %	需要の停滞	19.4 %	消費者ニーズの変化への対応	19.2 %
	大型店・中型店の進出による競争の激化	12.0 %	店舗の狭隘・老朽化	12.0 %	購買力の他地域への流出	16.1 %	店舗の狭隘・老朽化	7.7 %
	仕入単価の上昇	12.0 %			店舗の狭隘・老朽化	12.9 %	人件費の増加	7.7 %
							人件費以外の経費の増加	7.7 %

小売業 経営上の問題点 具体的内容コメント

1. コロナ。(5件)
2. コロナ影響。
3. コロナ禍。
4. コロナにて客足が鈍る。
5. ネット通販に流れる。
6. 緊急事態宣言により外出自粛。

建設業



業況・完成工事（請負工事）額・採算（経常利益）

業況（ $\Delta 39 \rightarrow \Delta 24$ ）はかなり改善した。完成工事（請負工事）額（ $\Delta 33 \rightarrow \Delta 26$ ）は減少幅がかなり縮小し、採算（経常利益）（ $\Delta 42 \rightarrow \Delta 37$ ）は減少幅がやや縮小した。

従業員

従業員（ $\Delta 6 \rightarrow 5$ ）は増加に転じた。

資金繰り

資金繰り（ $\Delta 25 \rightarrow \Delta 13$ ）は厳しさがかなり和らいだ。

経営上の問題点

経営上の問題点として1位に挙げられたのは、「民間需要の停滞」が15.8%と最も高く、次いで「材料価格の上昇」が13.2%、「従業員の確保難」が10.5%となっている。

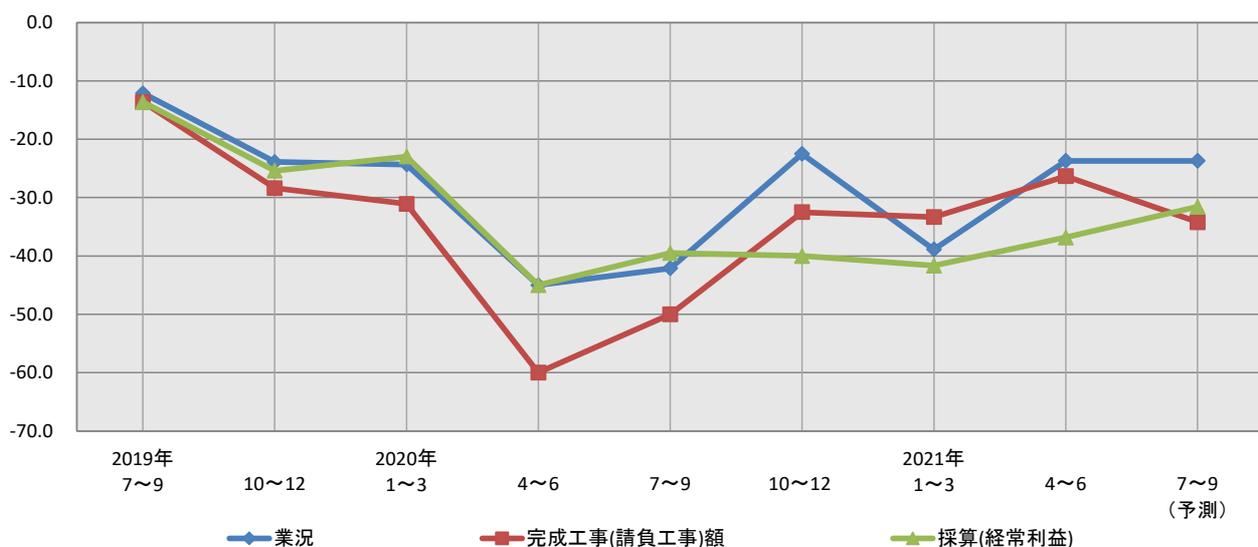
2位では「民間需要の停滞」が18.2%と最も高く、次いで「材料価格の上昇」「従業員の確保難」がともに13.6%、「材料の入手難」「請負単価の低下・上昇難」「下請単価の上昇」「熟練技術者の確保難」がいずれも9.1%となっている。

3位では「人件費の増加」が26.3%と最も高く、次いで「材料価格の上昇」「民間需要の停滞」がともに15.8%、「熟練技術者の確保難」「下請業者の確保難」がともに10.5%となっている。

来期の見通し

業況（ $\Delta 24 \rightarrow \Delta 24$ ）は今期並で推移する見込み。完成工事（請負工事）額（ $\Delta 26 \rightarrow \Delta 34$ ）は減少幅がかなり拡大し、採算（経常利益）（ $\Delta 37 \rightarrow \Delta 32$ ）は減少幅がやや縮小すると予想されている。

建設業 業況と完成工事（請負工事）額・採算（経常利益）の実績と予想の推移



建設業 経営上の問題点 (%)

	2020年7~9月期		2020年10~12月期		2021年1~3月期		2021年4~6月期	
第1位	民間需要の停滞	23.7 %	民間需要の停滞	20.0 %	民間需要の停滞	25.0 %	民間需要の停滞	15.8 %
	大企業の進出による競争の激化	7.9 %	熟練技術者の確保難	12.5 %	人件費の増加	8.3 %	材料価格の上昇	13.2 %
	材料価格の上昇	7.9 %			8.3 %	請負単価の低下・上昇難	8.3 %	
	請負単価の低下・上昇難	7.9 %			8.3 %	従業員の確保難	8.3 %	
	取引条件の悪化	5.3 %	従業員の確保難	10.0 %	大企業の進出による競争の激化	5.6 %	従業員の確保難	10.5 %
	事業資金の借入難	5.3 %						
官公需要の停滞	5.3 %							
第2位	人件費の増加	16.0 %	材料費・人件費以外の経費の増加	13.8 %	熟練技術者の確保難	21.7 %	民間需要の停滞	18.2 %
			熟練技術者の確保難	13.8 %				
			下請業者の確保難	13.8 %				
	材料費・人件費以外の経費の増加	12.0 %	請負単価の低下・上昇難	10.3 %	人件費の増加	17.4 %	材料価格の上昇	13.6 %
	下請業者の確保難	12.0 %	官公需要の停滞	10.3 %	従業員の確保難	8.7 %	請負単価の低下・上昇難	9.1 %
	民間需要の停滞	12.0 %	民間需要の停滞	10.3 %	下請業者の確保難	8.7 %	下請単価の上昇	9.1 %
	請負単価の低下・上昇難	8.0 %	人件費の増加	6.9 %	官公需要の停滞	8.7 %	熟練技術者の確保難	9.1 %
	下請単価の上昇	8.0 %	取引条件の悪化	6.9 %	民間需要の停滞	8.7 %		
	熟練技術者の確保難	8.0 %	従業員の確保難	6.9 %				
官公需要の停滞	8.0 %							
第3位	人件費の増加	14.3 %	下請業者の確保難	15.4 %	民間需要の停滞	22.7 %	人件費の増加	26.3 %
	請負単価の低下・上昇難	14.3 %						
	熟練技術者の確保難	14.3 %						
	民間需要の停滞	14.3 %						
	下請単価の上昇	9.5 %	材料費・人件費以外の経費の増加	11.5 %	材料価格の上昇	13.6 %	材料価格の上昇	15.8 %
	官公需要の停滞	9.5 %	従業員の確保難	11.5 %	下請業者の確保難	13.6 %	民間需要の停滞	15.8 %
	材料価格の上昇	4.8 %	大企業の進出による競争の激化	7.7 %	人件費の増加	9.1 %	熟練技術者の確保難	10.5 %
	材料費・人件費以外の経費の増加	4.8 %	下請単価の上昇	7.7 %	材料費・人件費以外の経費の増加	9.1 %	下請業者の確保難	10.5 %
	取引条件の悪化	4.8 %	熟練技術者の確保難	7.7 %				
	従業員の確保難	4.8 %						
	下請業者の確保難	4.8 %						

建設業 経営上の問題点 具体的内容コメント

1. コロナの影響。(2件)
2. コロナウイルス。

サービス業



業況・売上（収入）額・採算（経常利益）

業況（ $\Delta 33 \rightarrow \Delta 11$ ）は極端に改善した。売上（収入）額（ $\Delta 33 \rightarrow \Delta 20$ ）、採算（経常利益）（ $\Delta 35 \rightarrow \Delta 18$ ）はともに減少幅がかなり縮小した。

従業員

従業員（ $3 \rightarrow 5$ ）は増加幅がやや拡大した。

資金繰り

資金繰り（ $\Delta 19 \rightarrow \Delta 7$ ）は厳しさがかなり和らいだ。

経営上の問題点

経営上の問題点として1位に挙げられたのは、「需要の停滞」が19.6%と最も高く、次いで「利用者ニーズの変化への対応」が10.7%、「従業員の確保難」が8.9%となっている。なお、「その他」が14.3%となっている。

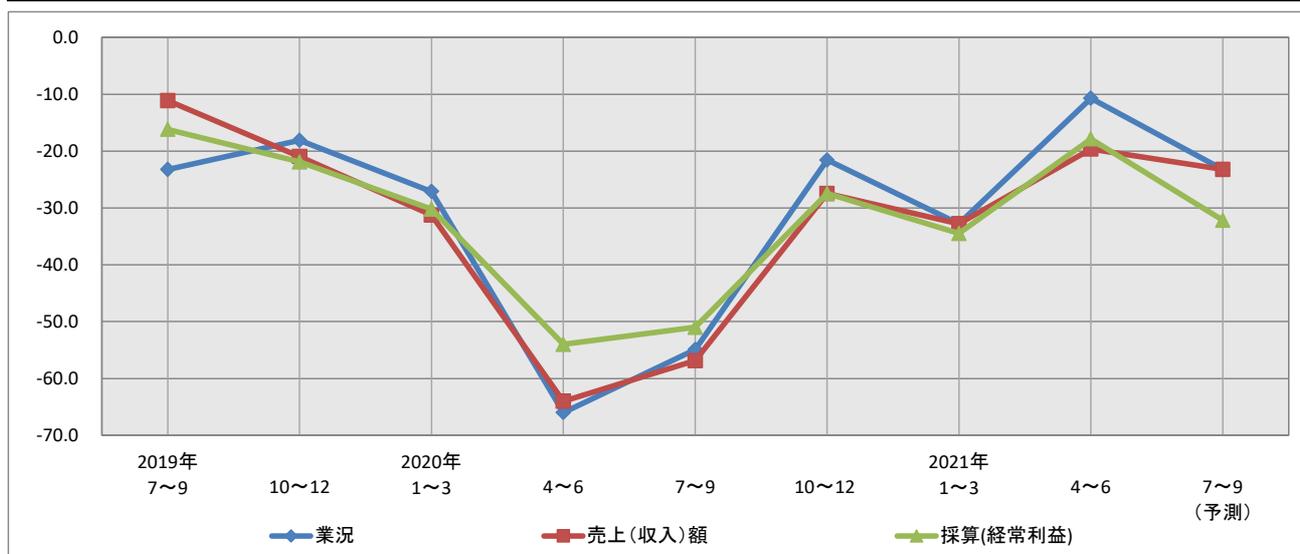
2位では「需要の停滞」が38.2%と最も高く、次いで「利用者ニーズの変化への対応」が17.6%、「人件費の増加」「従業員の確保難」「熟練従業員の確保難」がいずれも8.8%となっている。

3位では「店舗施設の狭隘・老朽化」が17.9%と最も高く、次いで「利用者ニーズの変化への対応」が14.3%、「材料等仕入単価の上昇」「事業資金の借入難」「従業員の確保難」がいずれも10.7%となっている。

来期の見通し

業況（ $\Delta 11 \rightarrow \Delta 23$ ）は低調感がかなり強まる見込み。売上（収入）額（ $\Delta 20 \rightarrow \Delta 23$ ）は減少幅がやや拡大し、採算（経常利益）（ $\Delta 18 \rightarrow \Delta 32$ ）は減少幅がかなり拡大すると予想されている。

サービス業 業況と売上（収入）額・採算（経常利益）の実績と予想の推移



サービス業 経営上の問題点（%）

	2020年7~9月期		2020年10~12月期		2021年1~3月期		2021年4~6月期	
第1位	需要の停滞	15.7 %	需要の停滞	15.7 %	需要の停滞	20.7 %	需要の停滞	19.6 %
	利用者ニーズの変化への対応	13.7 %	従業員の確保難	11.8 %	利用者ニーズの変化への対応	12.1 %	利用者ニーズの変化への対応	10.7 %
	従業員の確保難	13.7 %						
	熟練従業員の確保難	7.8 %	利用者ニーズの変化への対応	7.8 %	従業員の確保難	6.9 %	従業員の確保難	8.9 %
			店舗施設の狭隘・老朽化	7.8 %				
第2位	需要の停滞	21.9 %	需要の停滞	18.8 %	利用者ニーズの変化への対応	27.0 %	需要の停滞	38.2 %
	利用者ニーズの変化への対応	18.8 %	熟練従業員の確保難	12.5 %	需要の停滞	24.3 %	利用者ニーズの変化への対応	17.6 %
	利用料金の低下・上昇難	15.6 %	新規参入業者の増加	9.4 %	熟練従業員の確保難	13.5 %	人件費の増加	8.8 %
			利用者ニーズの変化への対応	9.4 %			従業員の確保難	8.8 %
			人件費の増加	9.4 %			熟練従業員の確保難	8.8 %
第3位	利用者ニーズの変化への対応	16.7 %	需要の停滞	22.2 %	利用料金の低下・上昇難	14.8 %	店舗施設の狭隘・老朽化	17.9 %
	需要の停滞	16.7 %			熟練従業員の確保難	14.8 %		
	材料等仕入単価の上昇	13.3 %	利用者ニーズの変化への対応	18.5 %	利用者ニーズの変化への対応	11.1 %	利用者ニーズの変化への対応	14.3 %
					店舗施設の狭隘・老朽化	11.1 %		
				人件費の増加	11.1 %			
				需要の停滞	11.1 %			
			材料等仕入単価の上昇	14.8 %	新規参入業者の増加	7.4 %	材料等仕入単価の上昇	10.7 %
					従業員の確保難	7.4 %	事業資金の借入難	10.7 %
							従業員の確保難	10.7 %

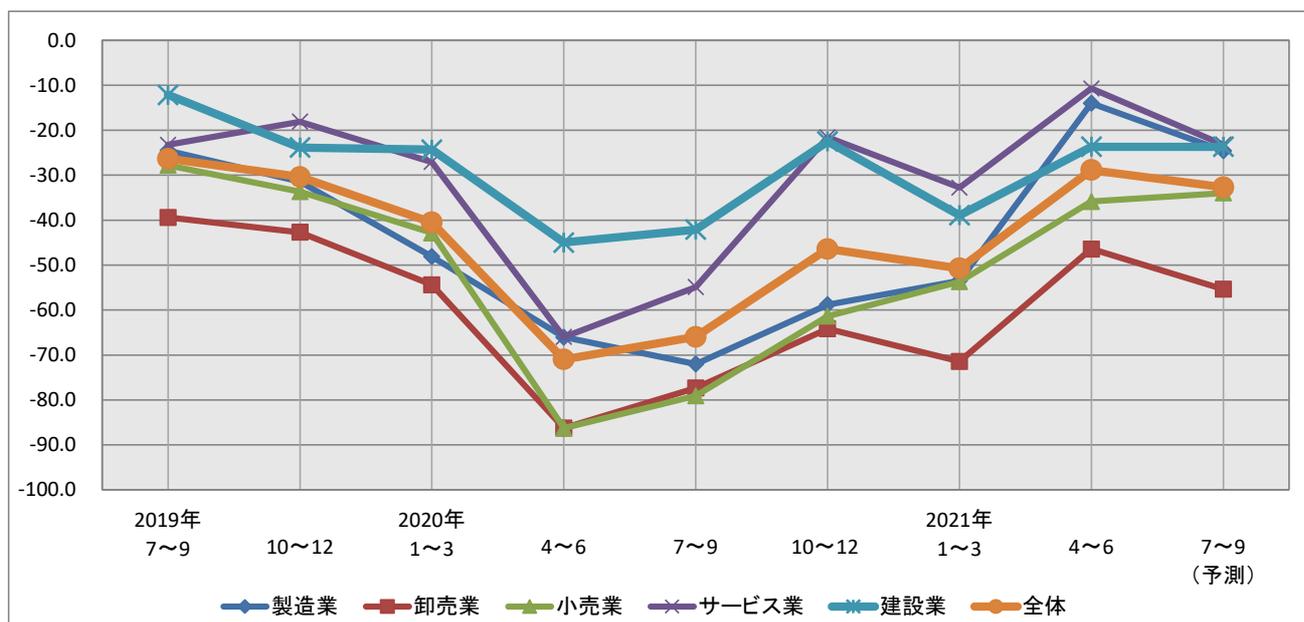
サービス業 経営上の問題点 具体的内容コメント

1. コロナ。(2件)
2. コロナで需要がない。
3. コロナ禍の自粛。
4. コロナの影響。急に持続化給付金の不正調査を行うようになり厳しくなった。
5. コロナ対策への協力の影響大、市役所の移転に伴う需要の激減。
6. コロナで業務体系を変える必要あり。

総括

〈業況〉

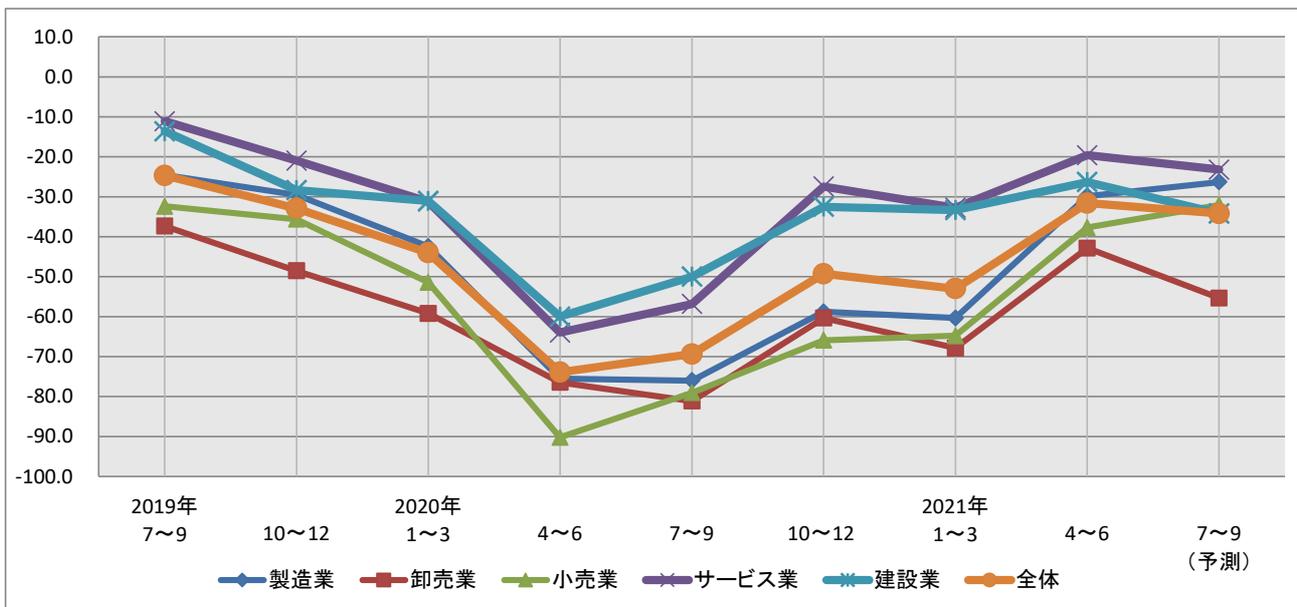
【前回調査】			【今回調査】		
	2021年 1～3月期	2021年 4～6月期(予測)	2021年 4～6月期	2021年 7～9月期(予測)	
好転	6.9	13.7	16.9	9.6	
不変	34.7	39.7	37.3	45.4	
悪化	57.6	45.0	45.8	42.3	
D・I	-50.7	-31.3	-28.9	-32.7	



全体(全業種合算)の今期業況は $\Delta 29$ となり、前期 $\Delta 51$ から22ポイント増と極端に改善した。前期における来期予測(=今期)は $\Delta 31$ で、実績は予想値を2ポイント上回った。前期から今期に限った全体の業況変動は、製造業、卸売業、サービス業はいずれも極端に上向き、小売業、建設業はともになんかなり改善したため、全体としても極端に改善する結果となった。来期予測は、小売業はやや改善するものの、建設業は今期並の低調感が続き、製造業、卸売業、サービス業はいずれもかなり厳しさが増すと予測されることから、全体では4ポイント減の $\Delta 33$ とやや悪化幅が拡大する見通しである。

〈売上/完成工事額〉

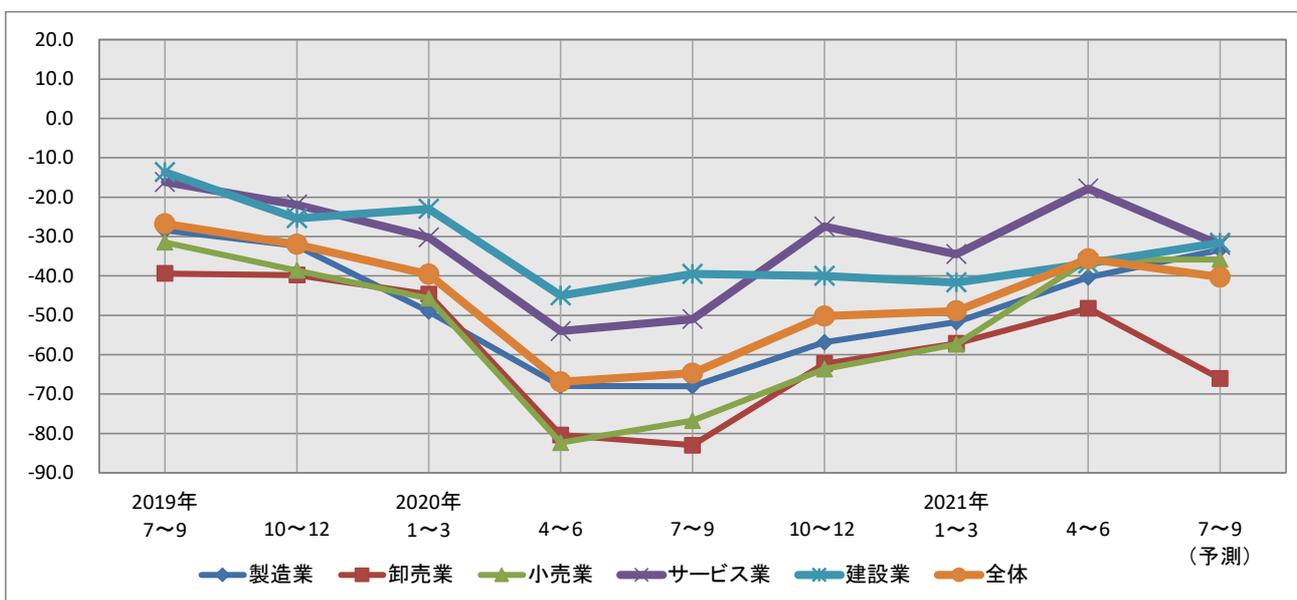
【前回調査】			【今回調査】		
	2021年 1～3月期	2021年 4～6月期(予測)	2021年 4～6月期	2021年 7～9月期(予測)	
増加	10.7	16.0	21.5	14.6	
不変	25.2	34.7	25.0	35.4	
減少	63.7	49.2	53.1	48.8	
D・I	-53.0	-33.2	-31.6	-34.2	



全体（全業種合算）の今期売上/完成工事額は△32 となり、前期△53 から 21 ポイント増と減少が極端に弱まり、前期における来期予測（=今期）△33 を 1 ポイント上回った。製造業、卸売業、小売業はいずれも減少幅が極端に縮小し、建設業、サービス業はともになんかなり改善したため、全体としても減少が極端に弱まる結果となった。来期予測については、小売業は大きく持ち直し、製造業はやや減少が弱まるものの、サービス業はやや減少が強まり、卸売業、建設業はともに減少幅がかなり拡大すると予測されていることから、全体では 2 ポイント減の△34 と減少がやや強まる見通しである。

〈〈採算（経常利益）〉〉

	【前回調査】		⇒	【今回調査】	
	2021年 1~3月期	2021年 4~6月期(予測)		2021年 4~6月期	2021年 7~9月期(予測)
好転	8.0	13.0		15.8	8.5
不変	34.7	38.9		32.3	41.5
悪化	56.9	48.1		51.5	48.8
D・I	-48.9	-35.1		-35.7	-40.3



全体（全業種合算）の今期採算（経常利益）は△36となり、前期△49から13ポイント増と大幅に改善した。建設業はやや持ち直し、製造業、卸売業、サービス業はいずれも減少幅がかなり縮小し、小売業は減少が極端に弱まったため、全体でも大幅に改善した。来期予測は、製造業は大きく持ち直し、建設業は減少がやや弱まるものの、小売業は今期並の減少幅で推移し、卸売業、サービス業はともに減少幅がかなり拡大すると予測されることから、全体では4ポイント減の△40と減少がやや強まる見通しである。

〈〈従業員数〉〉

【前回調査】			【今回調査】		
	2021年 1～3月期	2021年 4～6月期(予測)		2021年 4～6月期	2021年 7～9月期(予測)
増加	6.9	6.9		9.6	7.7
不変	79.4	82.8		77.3	81.9
減少	9.2	5.7		8.1	5.4
D・I	-2.3	1.2		1.5	2.3

全体（全業種合算）の今期従業員数は前期比4ポイント増の2となり、適正水準で推移した。今期は製造業、建設業でともに大きく増加に転じ、サービス業でやや増加が強まった一方で、卸売業では増加がわずかに弱まって適正水準となり、小売業で減少が大きく強まった結果、全体では適正水準の範囲で推移したとみられる。来期予測は全体で2となり、今期並の適正水準で推移すると予測されている。製造業は増加が多少強まり、建設業は今期並の増加が続き、サービス業は増加がやや弱まると見込まれる。小売業は減少幅がかなり縮小し、卸売業は減少がやや強まると予想されている。

〈〈資金繰り〉〉

【前回調査】			【今回調査】		
	2021年 1～3月期	2021年 4～6月期(予測)		2021年 4～6月期	2021年 7～9月期(予測)
好転	6.5	6.5		8.1	6.5
不変	55.3	58.8		58.5	60.0
悪化	37.4	33.6		32.7	31.5
D・I	-30.9	-27.1		-24.6	-25.0

全体（全業種合算）の今期資金繰りは前期比6ポイント増の△25となり、窮屈感が大きく緩和した。今期は製造業で前期並の窮屈感が続き、小売業で厳しさがやや強まったものの、卸売業、建設業、サービス業でいずれも大きく厳しさが和らいだため、全体としては窮屈感が大きく緩和する結果となった。来期予測は増減なく△25と今期並の窮屈感で推移すると見込まれ、小売業は大きく厳しさが和らぐ一方、製造業、卸売業、サービス業はいずれもやや窮屈感が強まり、建設業はかなり厳しさが強まると予測されている。今期の資金繰りD・Iを前年同期と比較したところ、全ての業種で窮屈感が非常に大きく緩和し、特に建設業、サービス業では30ポイント以上増となった。一方で、小売業では2020年度第1四半期以来「悪化」回答が5業種中最も高く、今期も「悪化」が5割を占めた。小売業を除く業種では、今期はいずれも改善したものの来期は厳しさが強まると見込まれ、資金繰りへの懸念が続くものとみられる。

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	2019年 7~9月期		2019年 10~12月期		2020年 1~3月期		2020年 4~6月期		2020年 7~9月期		2020年 10~12月期		2021年 1~3月期		2021年 4~6月期		2021年 7~9月期 (予測)
業況	好転	8.8	10.6	10.5	6.9	4.7	10.5	3.8	4.7	2.0	3.8	5.9	0.0	3.4	5.9	9.0	15.5	15.8
	不変	57.8	44.2	46.7	54.9	42.5	52.4	24.5	33.0	24.0	22.6	29.4	34.0	39.7	37.3	24.0	39.7	42.1
	悪化	33.3	41.3	41.9	34.3	52.8	34.3	69.8	58.5	74.0	69.8	64.7	64.0	56.9	54.9	23.0	44.8	40.4
	D・I	-24.5	-30.8	-31.4	-27.5	-48.1	-23.8	-66.0	-53.8	-72.0	-66.0	-58.8	-64.0	-53.4	-49.0	-14.0	-29.3	-24.6
売上（加工）額	増加	10.8	13.5	13.3	11.8	8.5	11.4	5.7	7.5	2.0	7.5	9.8	2.0	6.9	9.8	19.3	15.5	21.1
	不変	53.9	40.4	43.8	50.0	40.6	51.4	13.2	31.1	20.0	17.0	21.6	34.0	24.1	35.3	31.6	31.0	31.6
	減少	35.3	44.2	42.9	38.2	50.9	36.2	81.1	61.3	78.0	75.5	68.6	64.0	67.2	54.9	49.1	53.4	47.4
	D・I	-24.5	-30.8	-29.5	-26.5	-42.5	-24.8	-75.5	-53.8	-76.0	-67.9	-58.8	-62.0	-60.3	-45.1	-29.8	-37.9	-26.3
採算（経常利益）	好転	9.8	9.6	10.5	5.9	2.8	5.7	3.8	3.8	2.0	5.7	7.8	2.0	5.2	3.9	14.0	12.1	12.3
	不変	52.0	43.3	46.7	55.9	45.3	56.2	22.6	36.8	28.0	18.9	27.5	34.0	37.9	39.2	31.6	36.2	42.1
	悪化	38.2	45.2	42.9	38.2	51.9	37.1	71.7	59.4	70.0	73.6	64.7	64.0	56.9	56.9	54.4	51.7	45.6
	D・I	-28.4	-35.6	-32.4	-32.4	-49.1	-31.4	-67.9	-55.7	-68.0	-67.9	-56.9	-62.0	-51.7	-52.9	-40.4	-39.7	-33.3
製品在庫数量	増加	8.8	4.8	9.5	3.9	3.8	4.8	13.2	2.8	22.0	9.4	13.7	14.0	12.1	3.9	7.0	15.5	5.3
	不変	67.6	68.3	71.4	73.5	68.9	75.2	58.5	67.0	50.0	58.5	60.8	62.0	63.8	68.6	56.1	58.6	59.6
	減少	17.6	23.1	15.2	16.7	20.8	15.2	20.8	22.6	22.0	24.5	21.6	18.0	20.7	23.5	33.3	22.4	31.6
	D・I	-8.8	-18.3	-5.7	-12.7	-17.0	-10.5	-7.5	-19.8	0.0	-15.1	-7.8	-4.0	-8.6	-19.6	-26.3	-6.9	-26.3
従業員	増加	5.9	6.7	8.6	4.9	7.5	4.8	5.7	9.4	8.0	5.7	9.8	2.0	5.2	3.9	17.5	12.1	14.0
	不変	74.5	76.9	79.0	84.3	78.3	84.8	73.6	80.2	66.0	73.6	68.6	78.0	75.9	82.4	68.4	79.3	78.9
	減少	17.6	12.5	11.4	8.8	12.3	9.5	11.3	8.5	24.0	9.4	19.6	18.0	17.2	11.8	12.3	6.9	5.3
	D・I	-11.8	-5.8	-2.9	-3.9	-4.7	-4.8	-5.7	0.9	-16.0	-3.8	-9.8	-16.0	-12.1	-7.8	5.3	5.2	8.8
資金繰り	好転	4.9	5.8	2.9	3.9	3.8	1.0	1.9	1.9	2.0	0.0	3.9	2.0	5.2	3.9	7.0	1.7	7.0
	不変	77.5	71.2	76.2	73.5	68.9	71.4	49.1	55.7	54.0	45.3	51.0	54.0	63.8	54.9	63.2	65.5	57.9
	悪化	17.6	21.2	21.0	22.5	26.4	27.6	47.2	42.5	44.0	50.9	43.1	44.0	29.3	39.2	29.8	32.8	35.1
	D・I	-12.7	-15.4	-18.1	-18.6	-22.6	-26.7	-45.3	-40.6	-42.0	-50.9	-39.2	-42.0	-24.1	-35.3	-22.8	-31.0	-28.1
有効回答事業所数		102		105		106		53		50		51		58		57		

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

調査期		2020年 4~6月期			2020年 7~9月期			2020年 10~12月期			2021年 1~3月期			2021年 4~6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
経営上の問題点 (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	2.3	0.0
	新規参入業者の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	6.1	3.5	4.5	0.0
	製品ニーズの変化への対応	9.4	0.0	10.0	6.0	12.5	12.9	5.9	10.8	26.9	5.2	9.3	9.1	7.0	11.4	8.1
	生産設備の不足・老朽化	3.8	5.0	6.7	8.0	7.5	9.7	11.8	5.4	7.7	10.3	18.6	9.1	5.3	9.1	21.6
	生産設備の過剰	1.9	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0
	原材料価格の上昇	5.7	20.0	13.3	10.0	22.5	3.2	2.0	18.9	0.0	6.9	20.9	12.1	10.5	20.5	10.8
	原材料の不足	0.0	5.0	3.3	0.0	5.0	3.2	2.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	人件費の増加	3.8	5.0	3.3	2.0	10.0	12.9	11.8	10.8	3.8	8.6	11.6	3.0	8.8	11.4	2.7
	原材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	2.5	10.0	0.0	2.5	6.5	0.0	5.4	15.4	0.0	7.0	0.0	0.0	6.8	10.8
	製品(加工)単価の低下・上昇難	1.9	7.5	13.3	4.0	15.0	12.9	2.0	16.2	3.8	1.7	2.3	21.2	0.0	4.5	13.5
	金利負担の増加	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	4.5	0.0
	取引条件の悪化	3.8	2.5	3.3	2.0	2.5	3.2	0.0	2.7	3.8	0.0	7.0	3.0	0.0	2.3	5.4
	事業資金の借入難	1.9	0.0	10.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	6.1	1.8	2.3	0.0
	従業員の確保難	1.9	12.5	0.0	2.0	5.0	16.1	2.0	13.5	3.8	5.2	4.7	9.1	3.5	2.3	10.8
	熟練技術者の確保難	3.8	5.0	13.3	2.0	2.5	9.7	2.0	5.4	11.5	10.3	0.0	9.1	10.5	2.3	2.7
	需要の停滞	34.0	30.0	3.3	50.0	7.5	0.0	45.1	5.4	11.5	36.2	16.3	12.1	35.1	11.4	8.1
	その他	20.8	2.5	6.7	10.0	5.0	3.2	9.8	2.7	3.8	6.9	0.0	0.0	3.5	2.3	2.7
該当なし	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	6.9	0.0	0.0	8.8	0.0	2.7	
未回答	3.8	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
有効回答事業所数		53			50			51			58			57		

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	2019年 7～9月期		2019年 10～12月期		2020年 1～3月期		2020年 4～6月期		2020年 7～9月期		2020年 10～12月期		2021年 1～3月期		2021年 4～6月期		2021年 7～9月期 (予測)
業況	好転	3.0	8.9	6.8	4.0	4.9	3.9	0.0	6.8	1.9	0.0	5.7	1.9	3.6	3.8	16.1	7.1	3.6
	不変	54.5	44.6	43.7	46.5	35.0	53.4	13.7	31.1	18.9	3.9	24.5	24.5	21.4	32.1	21.4	26.8	32.1
	悪化	42.4	45.5	49.5	49.5	59.2	40.8	86.3	61.2	79.2	88.2	69.8	71.7	75.0	64.2	62.5	62.5	58.9
	D・I	-39.4	-36.6	-42.7	-45.5	-54.4	-36.9	-86.3	-54.4	-77.4	-88.2	-64.2	-69.8	-71.4	-60.4	-46.4	-55.4	-55.4
売上額	増加	9.1	11.9	9.7	7.1	4.9	5.8	5.9	7.8	3.8	0.0	7.5	1.9	7.1	5.7	19.6	8.9	5.4
	不変	44.4	45.5	32.0	41.4	30.1	44.7	11.8	28.2	11.3	9.8	24.5	18.9	17.9	22.6	16.1	28.6	33.9
	減少	46.5	42.6	58.3	51.5	64.1	48.5	82.4	63.1	84.9	86.3	67.9	79.2	75.0	71.7	62.5	62.5	60.7
	D・I	-37.4	-30.7	-48.5	-44.4	-59.2	-42.7	-76.5	-55.3	-81.1	-86.3	-60.4	-77.4	-67.9	-66.0	-42.9	-53.6	-55.4
採算 (経常利益)	好転	7.1	4.0	9.7	5.1	5.8	5.8	2.0	2.9	1.9	2.0	7.5	1.9	7.1	1.9	14.3	7.1	1.8
	不変	46.5	45.5	40.8	44.4	43.7	47.6	15.7	42.7	13.2	11.8	22.6	20.8	28.6	30.2	23.2	35.7	30.4
	悪化	46.5	49.5	49.5	49.5	50.5	45.6	82.4	53.4	84.9	84.3	69.8	77.4	64.3	64.2	62.5	57.1	67.9
	D・I	-39.4	-45.5	-39.8	-44.4	-44.7	-39.8	-80.4	-50.5	-83.0	-82.4	-62.3	-75.5	-57.1	-62.3	-48.2	-50.0	-66.1
商品在庫数量	増加	9.1	7.9	6.8	7.1	10.7	6.8	13.7	3.9	13.2	11.8	11.3	5.7	10.7	9.4	10.7	16.1	7.1
	不変	62.6	69.3	63.1	68.7	65.0	65.0	54.9	65.0	52.8	56.9	66.0	62.3	60.7	66.0	57.1	57.1	66.1
	減少	28.3	21.8	30.1	24.2	24.3	27.2	31.4	30.1	34.0	29.4	22.6	32.1	28.6	24.5	30.4	26.8	25.0
	D・I	-19.2	-13.9	-23.3	-17.2	-13.6	-20.4	-17.6	-26.2	-20.8	-17.6	-11.3	-26.4	-17.9	-15.1	-19.6	-10.7	-17.9
従業員	増加	5.1	7.9	4.9	6.1	4.9	3.9	2.0	7.8	0.0	3.9	5.7	1.9	10.7	3.8	1.8	3.6	1.8
	不変	83.8	82.2	85.4	84.8	82.5	84.5	76.5	82.5	90.6	72.5	86.8	86.8	80.4	88.7	92.9	89.3	91.1
	減少	10.1	5.9	6.8	8.1	10.7	7.8	17.6	8.7	7.5	17.6	7.5	7.5	7.1	7.5	1.8	5.4	3.6
	D・I	-5.1	2.0	-1.9	-2.0	-5.8	-3.9	-15.7	-1.0	-7.5	-13.7	-1.9	-5.7	3.6	-3.8	0.0	-1.8	-1.8
資金繰り	好転	7.1	3.0	4.9	6.1	0.0	3.9	0.0	1.9	1.9	0.0	5.7	1.9	5.4	5.7	5.4	5.4	3.6
	不変	71.7	75.2	68.0	71.7	71.8	64.1	43.1	65.0	54.7	39.2	62.3	50.9	48.2	54.7	58.9	50.0	58.9
	悪化	21.2	19.8	26.2	22.2	28.2	30.1	54.9	33.0	43.4	58.8	32.1	47.2	46.4	39.6	35.7	44.6	37.5
	D・I	-14.1	-16.8	-21.4	-16.2	-28.2	-26.2	-54.9	-31.1	-41.5	-58.8	-26.4	-45.3	-41.1	-34.0	-30.4	-39.3	-33.9
有効回答事業所数		99		103		103		51		53		53		56		56		

<卸売業>

中小企業景況調査 転記表 NO. 2

2021年4～6月期

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

調査期		2020年 4～6月期			2020年 7～9月期			2020年 10～12月期			2021年 1～3月期			2021年 4～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
経営上の 問題点 (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	2.5	0.0	4.3	2.4	1.8	0.0	2.4	0.0	0.0	2.5
	メーカーの進出による競争の激化	0.0	4.3	2.7	5.7	0.0	2.5	3.8	4.3	0.0	1.8	4.1	4.9	3.6	2.0	2.5
	小売業の進出による競争の激化	0.0	6.4	5.4	1.9	4.2	5.0	1.9	2.1	2.4	0.0	4.1	2.4	3.6	2.0	7.5
	新規参入業者の増加	0.0	0.0	10.8	0.0	4.2	2.5	1.9	4.3	4.8	1.8	2.0	4.9	1.8	2.0	5.0
	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	2.0	4.3	8.1	3.8	2.1	10.0	1.9	6.4	9.5	3.6	0.0	12.2	5.4	2.0	7.5
	商品在庫の過剰	0.0	6.4	2.7	0.0	4.2	5.0	0.0	2.1	2.4	0.0	2.0	2.4	0.0	0.0	2.5
	人件費の増加	3.9	8.5	5.4	0.0	10.4	5.0	3.8	6.4	2.4	3.6	6.1	2.4	7.1	4.0	7.5
	人件費以外の経費の増加	0.0	10.6	10.8	0.0	8.3	10.0	0.0	4.3	16.7	0.0	8.2	12.2	1.8	10.0	15.0
	販売単価の低下・上昇難	15.7	14.9	13.5	5.7	25.0	15.0	9.4	23.4	26.2	8.9	28.6	9.8	5.4	26.0	12.5
	仕入単価の上昇	9.8	14.9	5.4	9.4	16.7	25.0	1.9	21.3	16.7	7.1	18.4	9.8	14.3	24.0	10.0
	金利負担の増加	0.0	0.0	2.7	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	代金回収の悪化	0.0	2.1	10.8	0.0	4.2	5.0	1.9	2.1	2.4	3.6	0.0	4.9	1.8	0.0	2.5
	事業資金の借入難	2.0	2.1	0.0	1.9	2.1	2.5	1.9	0.0	0.0	0.0	2.0	4.9	1.8	0.0	2.5
	従業員の確保難	0.0	2.1	10.8	3.8	0.0	7.5	5.7	2.1	7.1	3.6	2.0	12.2	5.4	2.0	7.5
	需要の停滞	54.9	17.0	5.4	49.1	16.7	2.5	52.8	14.9	4.8	55.4	18.4	12.2	41.1	22.0	15.0
	その他	11.8	6.4	5.4	17.0	0.0	0.0	11.3	2.1	2.4	7.1	4.1	2.4	7.1	4.0	0.0
	該当なし	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
未回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
有効回答事業所数		51			53			53			56			56		

<小売業>

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

2021年4~6月期

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	2019年 7~9月期		2019年 10~12月期		2020年 1~3月期		2020年 4~6月期		2020年 7~9月期		2020年 10~12月期		2021年 1~3月期		2021年 4~6月期		2021年 7~9月期 (予測)
業況	好転	10.2	5.0	8.9	5.6	6.7	5.9	2.0	4.8	0.0	0.0	6.8	2.3	3.7	4.5	18.9	14.8	9.4
	不変	48.1	57.4	47.5	50.9	42.9	45.5	7.8	40.0	20.9	13.7	22.7	27.9	35.2	34.1	26.4	38.9	47.2
	悪化	38.0	34.7	42.6	40.7	49.5	45.5	88.2	53.3	79.1	78.4	68.2	69.8	57.4	59.1	54.7	44.4	43.4
	D・I	-27.8	-29.7	-33.7	-35.2	-42.9	-39.6	-86.3	-48.6	-79.1	-78.4	-61.4	-67.4	-53.7	-54.5	-35.8	-29.6	-34.0
売上額	増加	10.2	9.9	11.9	9.3	5.7	8.9	2.0	7.6	2.3	0.0	9.1	4.7	3.7	2.3	24.5	16.7	17.0
	不変	45.4	48.5	40.6	41.7	37.1	38.6	3.9	35.2	16.3	11.8	13.6	23.3	27.8	27.3	13.2	33.3	34.0
	減少	42.6	41.6	47.5	47.2	57.1	52.5	92.2	57.1	81.4	84.3	75.0	72.1	68.5	68.2	62.3	50.0	49.1
	D・I	-32.4	-31.7	-35.6	-38.0	-51.4	-43.6	-90.2	-49.5	-79.1	-84.3	-65.9	-67.4	-64.8	-65.9	-37.7	-33.3	-32.1
採算 (経常利益)	好転	8.3	4.0	5.9	4.6	2.9	5.9	0.0	2.9	2.3	2.0	6.8	0.0	3.7	2.3	22.6	14.8	11.3
	不変	50.9	53.5	48.5	50.0	48.6	46.5	13.7	42.9	18.6	7.8	18.2	32.6	33.3	25.0	18.9	35.2	41.5
	悪化	39.8	40.6	44.6	43.5	48.6	44.6	82.4	53.3	79.1	84.3	70.5	67.4	61.1	65.9	58.5	50.0	47.2
	D・I	-31.5	-36.6	-38.6	-38.9	-45.7	-38.6	-82.4	-50.5	-76.7	-82.4	-63.6	-67.4	-57.4	-63.6	-35.8	-35.2	-35.8
商品在庫数量	増加	7.4	4.0	5.0	8.3	8.6	7.9	17.6	6.7	2.3	9.8	6.8	2.3	3.7	4.5	3.8	5.6	5.7
	不変	67.6	72.3	71.3	68.5	69.5	70.3	45.1	69.5	53.5	45.1	52.3	51.2	72.2	52.3	66.0	75.9	64.2
	減少	24.1	19.8	23.8	22.2	21.9	21.8	35.3	23.8	44.2	41.2	38.6	46.5	22.2	40.9	30.2	18.5	28.3
	D・I	-16.7	-15.8	-18.8	-13.9	-13.3	-13.9	-17.6	-17.1	-41.9	-31.4	-31.8	-44.2	-18.5	-36.4	-26.4	-13.0	-22.6
従業員	増加	6.5	3.0	5.0	4.6	1.0	3.0	2.0	1.0	0.0	0.0	2.3	2.3	5.6	2.3	1.9	5.6	1.9
	不変	78.7	83.2	79.2	83.3	87.6	86.1	68.6	88.6	79.1	76.5	79.5	76.7	77.8	88.6	81.1	83.3	86.8
	減少	10.2	6.9	10.9	7.4	6.7	5.9	19.6	5.7	7.0	13.7	9.1	7.0	7.4	0.0	9.4	3.7	3.8
	D・I	-3.7	-4.0	-5.9	-2.8	-5.7	-3.0	-17.6	-4.8	-7.0	-13.7	-6.8	-4.7	-1.9	2.3	-7.5	1.9	-1.9
資金繰り	好転	4.6	4.0	4.0	2.8	1.9	5.0	0.0	1.9	2.3	0.0	2.3	0.0	3.7	0.0	3.8	5.6	7.5
	不変	74.1	74.3	67.3	75.9	72.4	72.3	27.5	70.5	41.9	31.4	38.6	39.5	48.1	47.7	43.4	59.3	50.9
	悪化	20.4	21.8	28.7	20.4	24.8	22.8	70.6	26.7	55.8	66.7	59.1	60.5	48.1	52.3	50.9	35.2	39.6
	D・I	-15.7	-17.8	-24.8	-17.6	-22.9	-17.8	-70.6	-24.8	-53.5	-66.7	-56.8	-60.5	-44.4	-52.3	-47.2	-29.6	-32.1
有効回答事業所数		108		101		105		51		43		44		54		53		

<小売業>

中小企業景況調査 転記表 NO. 2

2021年4~6月期

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

調査期		2020年 4~6月期			2020年 7~9月期			2020年 10~12月期			2021年 1~3月期			2021年 4~6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
経営上の問題点 (%)	大型店・中型店の進出による競争の激化	0.0	2.6	3.6	4.7	0.0	12.0	2.3	6.3	4.0	5.6	0.0	3.2	3.8	0.0	3.8
	同業者の進出	2.0	0.0	0.0	0.0	3.2	4.0	0.0	3.1	4.0	1.9	4.7	3.2	0.0	6.1	0.0
	購買力の他地域への流出	3.9	7.7	7.1	0.0	6.5	4.0	2.3	9.4	8.0	3.7	0.0	16.1	5.7	6.1	0.0
	消費者ニーズの変化への対応	5.9	25.6	17.9	7.0	9.7	24.0	13.6	15.6	24.0	13.0	27.9	19.4	11.3	21.2	19.2
	店舗の狭隘・老朽化	5.9	2.6	10.7	7.0	9.7	4.0	11.4	0.0	12.0	7.4	4.7	12.9	5.7	6.1	7.7
	駐車場の確保難	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	9.3	0.0	3.8	3.0	3.8
	商品在庫の過剰	0.0	2.6	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	2.3	3.2	0.0	0.0	0.0
	人件費の増加	2.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
	人件費以外の経費の増加	3.9	0.0	3.6	0.0	6.5	4.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	7.7
	販売単価の低下・上昇難	5.9	20.5	7.1	7.0	35.5	4.0	2.3	21.9	4.0	7.4	16.3	6.5	5.7	27.3	3.8
	仕入単価の上昇	0.0	2.6	17.9	2.3	6.5	12.0	6.8	9.4	8.0	3.7	11.6	3.2	7.5	6.1	0.0
	金利負担の増加	0.0	2.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	代金回収の悪化	0.0	2.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0
	事業資金の借入難	2.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	3.1	0.0	1.9	0.0	3.2	0.0	0.0	3.8
	従業員の確保難	2.0	0.0	3.6	2.3	6.5	8.0	0.0	3.1	0.0	3.7	4.7	3.2	1.9	3.0	0.0
	需要の停滞	39.2	23.1	7.1	37.2	12.9	16.0	25.0	18.8	20.0	31.5	14.0	19.4	24.5	15.2	30.8
	その他	27.5	5.1	7.1	27.9	3.2	8.0	22.7	3.1	4.0	13.0	4.7	3.2	13.2	6.1	11.5
該当なし	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	11.3	0.0	0.0	
未回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	
有効回答事業所数		51			43			44			54			53		

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		2019年 7～9月期		2019年 10～12月期		2020年 1～3月期		2020年 4～6月期		2020年 7～9月期		2020年 10～12月期		2021年 1～3月期		2021年 4～6月期		2021年 7～9月期 (予測)
項目																		
業況	好転	15.2	7.1	10.4	6.1	8.1	9.0	10.0	9.5	5.3	2.5	12.5	5.3	11.1	2.5	10.5	11.1	5.3
	不変	57.6	60.0	55.2	59.1	58.1	61.2	32.5	52.7	47.4	35.0	52.5	39.5	38.9	50.0	55.3	41.7	57.9
	悪化	27.3	31.4	34.3	33.3	32.4	28.4	55.0	35.1	47.4	60.0	35.0	52.6	50.0	47.5	34.2	44.4	28.9
	D・I	-12.1	-24.3	-23.9	-27.3	-24.3	-19.4	-45.0	-25.7	-42.1	-57.5	-22.5	-47.4	-38.9	-45.0	-23.7	-33.3	-23.7
(請負工事) 額	増加	19.7	15.7	14.9	10.6	10.8	9.0	5.0	12.2	7.9	2.5	15.0	2.6	19.4	5.0	18.4	11.1	5.3
	不変	47.0	50.0	41.8	50.0	47.3	53.7	30.0	47.3	34.2	35.0	37.5	34.2	27.8	45.0	36.8	41.7	50.0
	減少	33.3	32.9	43.3	37.9	41.9	35.8	65.0	39.2	57.9	62.5	47.5	63.2	52.8	50.0	44.7	47.2	39.5
	D・I	-13.6	-17.1	-28.4	-27.3	-31.1	-26.9	-60.0	-27.0	-50.0	-60.0	-32.5	-60.5	-33.3	-45.0	-26.3	-36.1	-34.2
採算 (経常利益)	好転	15.2	10.0	13.4	10.6	8.1	11.9	10.0	12.2	7.9	5.0	7.5	5.3	8.3	5.0	7.9	11.1	7.9
	不変	56.1	52.9	47.8	54.5	60.8	55.2	35.0	47.3	44.7	27.5	40.0	36.8	41.7	40.0	47.4	36.1	47.4
	悪化	28.8	35.7	38.8	33.3	31.1	31.3	55.0	39.2	47.4	67.5	47.5	55.3	50.0	50.0	44.7	52.8	39.5
	D・I	-13.6	-25.7	-25.4	-22.7	-23.0	-19.4	-45.0	-27.0	-39.5	-62.5	-40.0	-50.0	-41.7	-45.0	-36.8	-41.7	-31.6
従業員	増加	9.1	7.1	7.5	4.5	8.2	6.0	17.5	4.1	18.4	7.5	7.5	13.2	5.6	7.5	10.5	8.3	7.9
	不変	84.8	82.9	88.1	86.4	83.6	91.0	67.5	91.9	76.3	80.0	82.5	78.9	80.6	85.0	73.7	77.8	76.3
	減少	6.1	5.7	4.5	7.6	8.2	3.0	12.5	4.1	0.0	10.0	7.5	0.0	11.1	5.0	5.3	8.3	2.6
	D・I	3.0	1.4	3.0	-3.0	0.0	3.0	5.0	0.0	18.4	-2.5	0.0	13.2	-5.6	2.5	5.3	0.0	5.3
資金繰り	好転	15.2	5.7	7.5	6.1	5.4	4.5	2.5	6.8	5.3	0.0	5.0	2.6	2.8	2.5	7.9	2.8	5.3
	不変	74.2	75.7	80.6	74.2	79.7	86.6	50.0	79.7	47.4	45.0	57.5	42.1	69.4	60.0	68.4	63.9	60.5
	悪化	10.6	17.1	11.9	18.2	14.9	9.0	47.5	13.5	42.1	55.0	37.5	52.6	27.8	37.5	21.1	30.6	26.3
	D・I	4.5	-11.4	-4.5	-12.1	-9.5	-4.5	-45.0	-6.8	-36.8	-55.0	-32.5	-50.0	-25.0	-35.0	-13.2	-27.8	-21.1
有効回答事業所数		66		67		74		40		38		40		36		38		

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

調査期		2020年 4～6月期			2020年 7～9月期			2020年 10～12月期			2021年 1～3月期			2021年 4～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
経営上の 問題点 (%)	大企業の進出による競争の激化	7.5	0.0	0.0	7.9	4.0	0.0	0.0	0.0	7.7	5.6	0.0	4.5	5.3	0.0	0.0
	新規参入業者の増加	2.5	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	2.8	4.3	0.0	0.0	0.0	5.3
	材料価格の上昇	7.5	3.4	3.8	7.9	4.0	4.8	2.5	0.0	3.8	2.8	4.3	13.6	13.2	13.6	15.8
	材料の入手難	0.0	6.9	7.7	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0
	人件費の増加	2.5	6.9	7.7	0.0	16.0	14.3	7.5	6.9	3.8	8.3	17.4	9.1	0.0	4.5	26.3
	材料費・人件費以外の経費の増加	0.0	0.0	11.5	0.0	12.0	4.8	2.5	13.8	11.5	2.8	4.3	9.1	0.0	0.0	0.0
	請負単価の低下・上昇難	2.5	17.2	0.0	7.9	8.0	14.3	5.0	10.3	3.8	8.3	4.3	0.0	7.9	9.1	0.0
	下請単価の上昇	0.0	0.0	3.8	0.0	8.0	9.5	0.0	3.4	7.7	0.0	4.3	4.5	0.0	9.1	0.0
	金利負担の増加	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3
	取引条件の悪化	0.0	6.9	11.5	5.3	0.0	4.8	5.0	6.9	0.0	0.0	4.3	0.0	2.6	4.5	5.3
	事業資金の借入難	2.5	3.4	7.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0
	従業員の確保難	10.0	10.3	3.8	2.6	4.0	4.8	10.0	6.9	11.5	8.3	8.7	4.5	10.5	13.6	5.3
	熟練技術者の確保難	7.5	13.8	7.7	2.6	8.0	14.3	12.5	13.8	7.7	2.8	21.7	4.5	7.9	9.1	10.5
	下請業者の確保難	2.5	6.9	11.5	2.6	12.0	4.8	2.5	13.8	15.4	0.0	8.7	13.6	2.6	4.5	10.5
	官公需要の停滞	5.0	3.4	0.0	5.3	8.0	9.5	7.5	10.3	3.8	2.8	8.7	4.5	5.3	4.5	0.0
	民間需要の停滞	17.5	17.2	19.2	23.7	12.0	14.3	20.0	10.3	3.8	25.0	8.7	22.7	15.8	18.2	15.8
	その他	15.0	0.0	0.0	13.2	0.0	0.0	5.0	3.4	3.8	8.3	0.0	4.5	7.9	0.0	0.0
該当なし	12.5	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	15.0	0.0	0.0	13.9	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	
未回答	5.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	
有効回答事業所数	40			38			40			36			38			

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

項目	調査期	2019年		2019年		2020年		2020年		2020年		2020年		2021年		2021年		2021年
		7~9月期	10~12月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期	7~9月期	(予測)
業況	好転	10.1	14.9	17.1	11.1	5.2	6.7	2.0	3.1	2.0	2.0	13.7	2.0	13.8	9.8	19.6	19.0	12.5
	不変	56.6	59.6	47.6	55.6	60.4	62.9	30.0	53.1	41.2	40.0	47.1	43.1	39.7	45.1	50.0	51.7	51.8
	悪化	33.3	24.5	35.2	31.3	32.3	28.6	68.0	41.7	56.9	58.0	35.3	54.9	46.6	41.2	30.4	29.3	35.7
	D・I	-23.2	-9.6	-18.1	-20.2	-27.1	-21.9	-66.0	-38.5	-54.9	-56.0	-21.6	-52.9	-32.8	-31.4	-10.7	-10.3	-23.2
売上（収入）額	増加	21.2	18.1	19.0	15.2	7.3	11.4	6.0	6.3	3.9	4.0	21.6	2.0	19.0	9.8	25.0	25.9	21.4
	不変	46.5	57.4	41.0	52.5	54.2	60.0	24.0	47.9	35.3	30.0	29.4	43.1	29.3	35.3	30.4	41.4	32.1
	減少	32.3	24.5	40.0	32.3	38.5	27.6	70.0	44.8	60.8	66.0	49.0	54.9	51.7	54.9	44.6	32.8	44.6
	D・I	-11.1	-6.4	-21.0	-17.2	-31.3	-16.2	-64.0	-38.5	-56.9	-62.0	-27.5	-52.9	-32.8	-45.1	-19.6	-6.9	-23.2
採算（経常利益）	好転	16.2	16.0	13.3	8.1	8.3	7.6	6.0	5.2	3.9	2.0	17.6	5.9	15.5	11.8	17.9	19.0	8.9
	不変	50.5	56.4	50.5	58.6	52.1	60.0	34.0	50.0	37.3	38.0	35.3	41.2	34.5	39.2	44.6	50.0	48.2
	悪化	32.3	26.6	35.2	32.3	38.5	31.4	60.0	43.8	54.9	58.0	45.1	49.0	50.0	47.1	35.7	31.0	41.1
	D・I	-16.2	-10.6	-21.9	-24.2	-30.2	-23.8	-54.0	-38.5	-51.0	-56.0	-27.5	-43.1	-34.5	-35.3	-17.9	-12.1	-32.1
従業員	増加	9.1	5.3	6.7	5.1	7.3	1.9	4.0	4.2	0.0	4.0	11.8	0.0	6.9	7.8	16.1	5.2	12.5
	不変	78.8	80.9	75.2	83.8	77.1	83.8	68.0	78.1	70.6	68.0	76.5	82.4	82.8	80.4	69.6	82.8	75.0
	減少	10.1	9.6	14.3	9.1	12.5	10.5	22.0	13.5	19.6	22.0	5.9	7.8	3.4	5.9	10.7	5.2	10.7
	D・I	-1.0	-4.3	-7.6	-4.0	-5.2	-8.6	-18.0	-9.4	-19.6	-18.0	5.9	-7.8	3.4	2.0	5.4	0.0	1.8
資金繰り	好転	10.1	11.7	8.6	7.1	8.3	3.8	2.0	3.1	5.9	2.0	13.7	2.0	13.8	5.9	16.1	15.5	8.9
	不変	69.7	75.5	77.1	75.8	70.8	80.0	50.0	70.8	56.9	48.0	62.7	58.8	51.7	62.7	60.7	56.9	71.4
	悪化	20.2	12.8	12.4	17.2	19.8	14.3	48.0	25.0	35.3	50.0	21.6	37.3	32.8	29.4	23.2	24.1	17.9
	D・I	-10.1	-1.1	-3.8	-10.1	-11.5	-10.5	-46.0	-21.9	-29.4	-48.0	-7.8	-35.3	-19.0	-23.5	-7.1	-8.6	-8.9
有効回答事業所数		99		105		96		50		51		51		58		56		

地域名：岐阜市

中分類：業種合計

調査期		2020年 4～6月期			2020年 7～9月期			2020年 10～12月期			2021年 1～3月期			2021年 4～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
経営上の 問題点 (%)	大企業の進出による競争の激化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	2.0	3.1	0.0	0.0	2.7	0.0	3.6	0.0	3.6
	新規参入業者の増加	2.0	3.7	0.0	2.0	3.1	10.0	3.9	9.4	7.4	3.4	5.4	7.4	3.6	5.9	3.6
	利用者ニーズの変化への対応	8.0	7.4	13.6	13.7	18.8	16.7	7.8	9.4	18.5	12.1	27.0	11.1	10.7	17.6	14.3
	店舗施設の狭隘・老朽化	2.0	7.4	13.6	0.0	3.1	6.7	7.8	6.3	7.4	3.4	2.7	11.1	1.8	0.0	17.9
	人件費の増加	2.0	3.7	9.1	0.0	6.3	10.0	3.9	9.4	7.4	3.4	8.1	11.1	5.4	8.8	3.6
	人件費以外の経費の増加	2.0	7.4	22.7	3.9	0.0	6.7	0.0	6.3	7.4	3.4	0.0	3.7	3.6	5.9	7.1
	利用料金の低下・上昇難	0.0	14.8	0.0	0.0	15.6	0.0	0.0	6.3	3.7	3.4	2.7	14.8	1.8	2.9	3.6
	材料等仕入単価の上昇	4.0	7.4	4.5	2.0	6.3	13.3	3.9	3.1	14.8	0.0	5.4	3.7	3.6	2.9	10.7
	金利負担の増加	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	事業資金の借入難	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	3.3	0.0	3.1	0.0	1.7	0.0	3.7	0.0	0.0	10.7
	従業員の確保難	6.0	11.1	13.6	13.7	9.4	3.3	11.8	6.3	7.4	6.9	8.1	7.4	8.9	8.8	10.7
	熟練従業員の確保難	6.0	11.1	0.0	7.8	12.5	3.3	5.9	12.5	3.7	5.2	13.5	14.8	7.1	8.8	7.1
	需要の停滞	24.0	22.2	13.6	15.7	21.9	16.7	15.7	18.8	22.2	20.7	24.3	11.1	19.6	38.2	7.1
	その他	30.0	3.7	0.0	23.5	3.1	0.0	13.7	6.3	0.0	19.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0
	該当なし	10.0	0.0	0.0	15.7	0.0	0.0	19.6	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	16.1	0.0	0.0
未回答	4.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
有効回答事業所数		50			51			51			58			56		

特別企画

2021年（1-5月）

「飲食業の倒産動向」調査

～居酒屋の6割以上がコロナ関連倒産、休業要請も影響～

おかげさまで129年

 株式会社 **東京商工リサーチ**

<http://www.tsr-net.co.jp>

特別企画

2021年(1-5月)「飲食業の倒産動向」調査

～居酒屋の6割以上がコロナ関連倒産、休業要請も影響～

問合せ：岐阜支店
電話：058-265-0206

2021年(1-5月)の飲食業倒産(負債1,000万円以上)は270件(前年同期比15.6%減)だった。年間最多を記録した2020年(842件)と比べ、給付金や協力金などの支援効果もあり、飲食業の倒産は抑制されている。ただ、飲食業倒産のうち、新型コロナ関連倒産が123件(構成比45.5%)と、ほぼ半数を占め、時間の経過とともにコロナ禍の影響が事業継続に深刻な影を落としている。

緊急事態宣言の再延長や、まん延防止等重点措置実施が続く。緊急事態宣言下では、休業・時短営業や酒類提供の停止等が要請されている。

「酒場・ビヤホール(居酒屋)」では倒産が69件発生し、このうち新型コロナ関連倒産は43件と6割以上(構成比62.3%)を占めた。酒類提供が制限され、来店客の減少や客単価の低下などで売上が落ち込み、厳しい状況に置かれている。

コロナ禍でインバウンド需要の消失や外出自粛、在宅勤務の広がりに加え、酒類販売の停止など、経営環境の激変が1年以上続き、飲食業界の見通しは厳しい状況が続いている。

飲食業は規模により、初期投資や人員採用が比較的少なく済み、小・零細規模の企業も多い。また、自治体や金融機関からの創業支援もあり、過小資本での創業も少なくない。それだけに経営体力がぜい弱な企業も多いが、持続化給付金などで一時的に救済された事業者も少なくない。だが、長引くコロナ禍で体力の疲弊が進み、今後は息切れの懸念が強まっている。

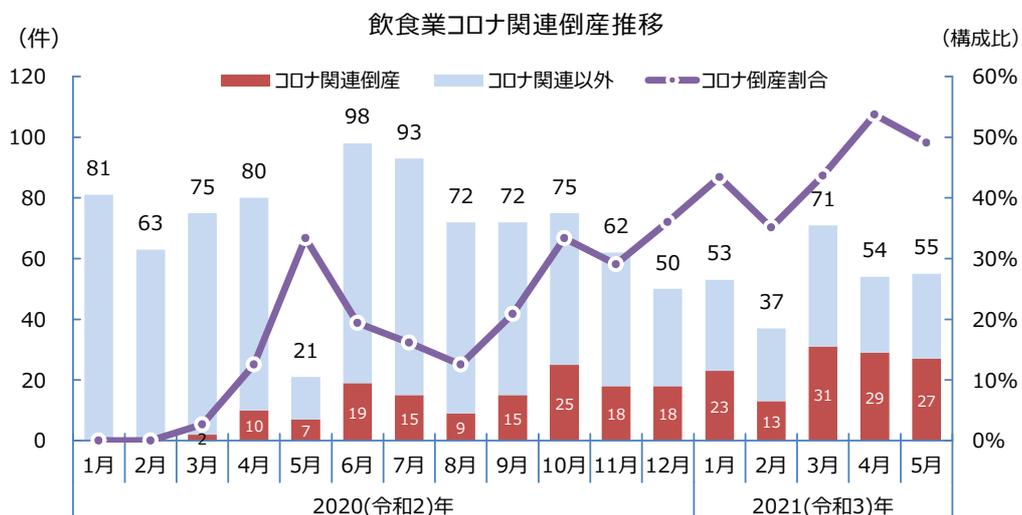
(※本調査は、日本産業分類の「飲食業」(「食堂、レストラン」「専門料理店」「そば・うどん店」「すし店」「酒場、ビヤホール」「バー、キャバレー、ナイトクラブ」「喫茶店」「その他の飲食店」「持ち帰り飲食サービス業」「宅配飲食サービス業」)の2021年1-5月の倒産を集計、分析した。)

新型コロナ関連倒産がほぼ半数

2021年(1-5月)の「飲食業」倒産は270件(前年同期比15.6%減)だった。2020年1-5月は人手不足による人件費上昇で倒産が増加。一方、2021年1-5月は新型コロナウイルス感染拡大に伴う制度融資や持続化給付金、協力金などの資金繰り支援が奏功し、倒産は抑制されてきた。

ただ、飲食業倒産に占める新型コロナ関連倒産の構成比は、1月43.3%、2月35.1%、3月43.6%、4月53.7%、5月49.0%と、高い水準で推移している。

飲食業は、経営体力がぜい弱な小・零細企業が多いだけに、外出自粛や時短営業、休業要請による売上減少などで、時間の経過とともに新型コロナウイルス感染拡大の影響は深刻さを増している。



業種別 居酒屋で新型コロナ関連倒産が6割

業種別では、日本料理店や中華料理店、ラーメン店、焼肉店などの「専門料理店」が71件（前年同期比19.3%減）で最多。次いで、「酒場、ビヤホール（居酒屋）」69件（同2.9%増）、「食堂、レストラン」45件（同34.7%減）の順。

新型コロナ関連倒産が占める構成比では、「酒場、ビヤホール（居酒屋）」が62.3%（新型コロナ関連倒産43件）で最高。以下、「持ち帰り飲食サービス業」が60.0%（同3件）、「そば・うどん店」が50.0%（同2件）と続く。

コロナ禍で、飲食業への時短営業や休業要請が続いている。特に、酒類を提供する居酒屋などを中心に、業況は厳しさを増している。

2021（令和3）年（1-5月）飲食業 業種小分類別倒産状況

小分類	件数				負債総額（百万円）			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
食堂、レストラン	45	16.66%	▲34.78%	69	2,053	8.42%	▲65.65%	5,977
専門料理店	71	26.29%	▲19.31%	88	14,518	59.59%	175.22%	5,275
そば・うどん店	4	1.48%	▲33.33%	6	70	0.28%	▲26.31%	95
すし店	10	3.70%	11.11%	9	200	0.82%	▲42.36%	347
酒場、ビヤホール	69	25.55%	2.98%	67	3,604	14.79%	45.32%	2,480
バー、キャバレー、ナイトクラブ	24	8.88%	4.34%	23	938	3.85%	146.84%	380
喫茶店	27	10.00%	3.84%	26	909	3.73%	90.56%	477
その他の飲食店	3	1.11%	▲66.66%	9	60	0.24%	▲75.60%	246
持ち帰り飲食サービス業	5	1.85%	▲37.50%	8	148	0.60%	▲91.35%	1,711
宅配飲食サービス業	12	4.44%	▲20.00%	15	1,862	7.64%	▲23.50%	2,434
合計	270	100%	▲15.62%	320	24,362	100%	25.43%	19,422

原因別 不況型倒産が9割

原因別の最多は、「販売不振」の236件（前年同期比16.0%減）で、飲食業倒産に占める構成比は87.4%（前年同期87.8%）だった。時短営業や休業要請による売上の減少で、業況が悪化している飲食業者も多い。次いで、「既往のシワ寄せ」11件（前年同期比10.0%増）、「事業上の失敗」7件（同41.6%減）の順。

『不況型倒産』（既往のシワ寄せ＋販売不振＋売掛金等回収難）は247件で、飲食業倒産の9割（91.4%）を占めた。

2021（令和3）年（1-5月）飲食業 原因別倒産状況

主因	明細	件数				負債総額（百万円）			
		当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
放漫経営	事業上の失敗	7	2.59%	▲41.66%	12	249	1.02%	▲34.81%	382
	事業外の失敗	1	0.37%	-	0	31	0.12%	-	0
	融手操作	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
	(小計)	(8)	(2.96%)	(▲33.33%)	(12)	(280)	(1.14%)	(▲26.70%)	(382)
過小資本	運転資金の欠乏	1	0.37%	▲80.00%	5	180	0.73%	▲66.16%	532
	金利負担の増加	1	0.37%	-	0	80	0.32%	-	0
	(小計)	(2)	(0.74%)	(▲60.00%)	(5)	(260)	(1.06%)	(▲51.12%)	(532)
他社倒産の余波		4	1.48%	0.00%	4	460	1.88%	▲48.88%	900
既往のシワ寄せ	①赤字累積	11	4.07%	10.00%	10	4,121	16.91%	28.86%	3,198
信用性低下	取引先の打ち切り	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
販売不振	②	236	87.40%	▲16.01%	281	18,670	76.63%	34.51%	13,880
売掛金等回収難	③	0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
在庫状態悪化		0	0.00%	-	0	0	0.00%	-	0
設備投資過大		3	1.11%	0.00%	3	370	1.51%	▲6.32%	395
その他	偶発的原因	6	2.22%	20.00%	5	201	0.82%	48.88%	135
合計		270	100%	▲15.62%	320	24,362	100%	25.43%	19,422
不況型倒産（①＋②＋③）		247	91.48%	▲15.12%	291	22,791	93.55%	33.45%	17,078

都道府県別 増加 20、減少 19、同数 8

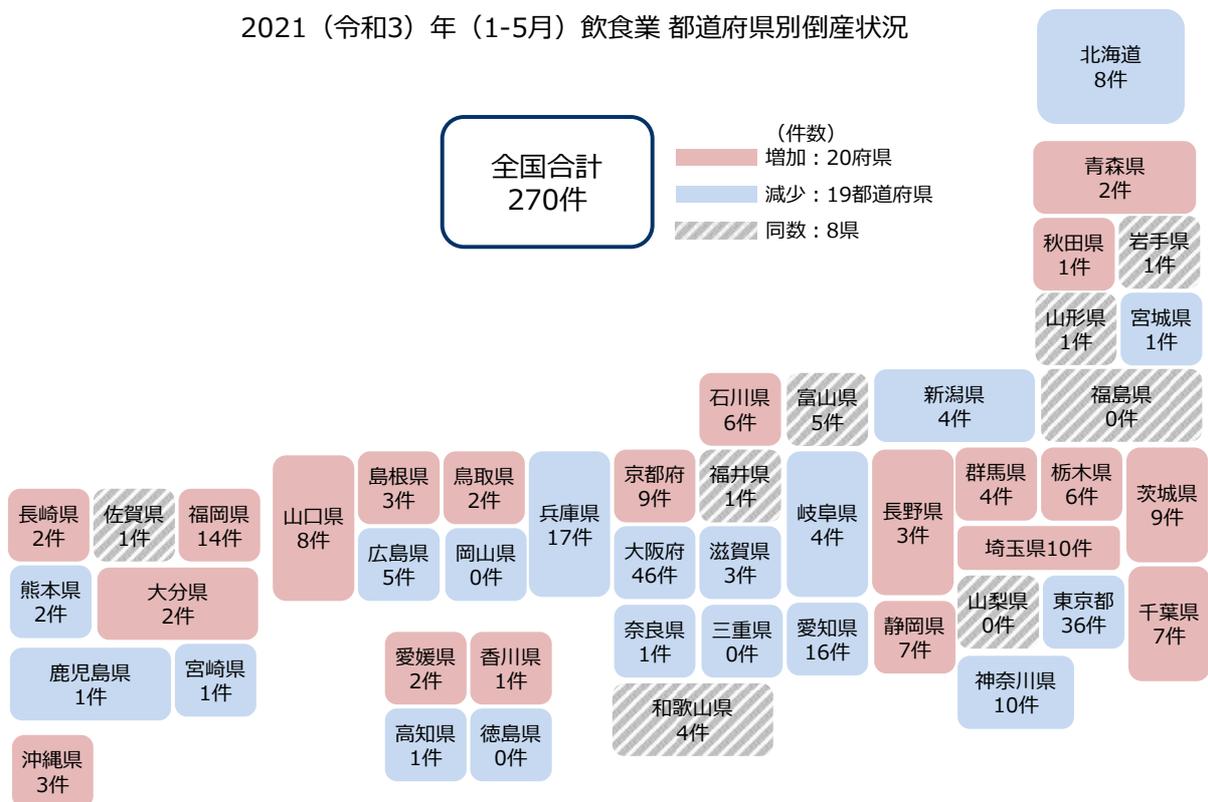
都道府県別では、増加が 20 府県、減少が 19 都道府県、同数が 8 県。

緊急事態宣言が発令されている 10 都道府県では、増加が京都 9 件（前年同期比 50.0%増）、福岡 14 件（同 7.6%増）、沖縄 3 件（同 200.0%増）の 3 府県。

一方、減少は、北海道 8 件（同 38.4%減）、東京 36 件（同 32.0%減）、愛知 16 件（同 52.9%減）、大阪 46 件（同 22.0%減）、兵庫 17 件（同 10.5%減）、岡山ゼロ（前年同期 3 件）、広島 5 件（前年同期比 16.6%減）の 7 都道府県。

まん延防止等重点措置の対象区域では、埼玉 10 件（同 42.8%増）、千葉 7 件（同 40.0%増）、神奈川 10 件（同 33.3%減）、岐阜 4 件（同 42.8%減）、三重ゼロ（前年同期 3 件）（以上実施期間 6 月 20 日まで）、群馬 4 件（前年同期比 33.3%増）、石川 6 件（同 100.0%増）、熊本 2 件（同 66.6%減）（同 6 月 13 日まで）だった。

2021（令和3）年（1-5月）飲食業 都道府県別倒産状況



2021（令和3）年（1-5月）主な「飲食業」新型コロナ関連倒産

企業コード	商号	所在地	資本金 (千円)	負債額 (百万円)	倒産原因	倒産形態
320220435	桜木管理（株）	千葉県	35000	3500	販売不振	民事再生法
297387294	ティーアンドピー（株）	東京都	62000	2500	既往のシワ寄せ	破産
472016083	（株）直丸屋	岐阜県	38000	1900	販売不振	破産
575869127	（株）海山御坊	大阪府	50000	600	販売不振	破産
018977650	（株）ムーンチャイルド	東京都	5000	560	販売不振	破産
297375083	モリタフードサービス（株）	東京都	10000	537	既往のシワ寄せ	破産
190068256	（有）はせがわ仕出し店	青森県	8000	514	販売不振	破産
820089729	東洋開発（株）	愛媛県	30000	500	既往のシワ寄せ	破産
012386669	（株）K. A. M r i c h f o o d s	北海道	59994	490	販売不振	破産
400790882	（株）メルス	愛知県	10000	375	販売不振	破産

2021（令和3）年（1-5月）飲食業 地区別倒産状況

地区	件数				負債総額（百万円）			
	当期	構成比	前年同期比	前年同期	当期	構成比	前年同期比	前年同期
北海道	8	2.96%	▲38.46%	13	660	2.70%	12.05%	589
東北	6	2.22%	0.00%	6	709	2.91%	300.56%	177
関東	86	31.85%	▲9.47%	95	11,038	45.30%	76.43%	6,256
中部	30	11.11%	▲41.17%	51	4,072	16.71%	117.05%	1,876
北陸	12	4.44%	33.33%	9	272	1.11%	11.47%	244
近畿	80	29.62%	▲18.36%	98	2,668	10.95%	▲60.45%	6,746
中国	18	6.66%	5.88%	17	1,542	6.32%	▲33.30%	2,312
四国	4	1.48%	0.00%	4	643	2.63%	147.30%	260
九州	26	9.62%	▲3.70%	27	2,758	11.32%	186.69%	962
合計	270	100%	▲15.62%	320	24,362	100%	25.43%	19,422

2021（令和3）年（1-5月）飲食業 都道府県別倒産状況（下段：前年 負債総額単位：百万円）

都道府県	件数	負債総額	都道府県	件数	負債総額	都道府県	件数	負債総額
北海道	8	660	長野県	3	84	岡山県	0	0
▼ +	13	589	+ +	1	35	▼ ▼	3	641
青森県	2	554	岐阜県	4	2,013	広島県	5	187
+ +	1	27	▼ +	7	315	▼ ▼	6	1,526
岩手県	1	13	静岡県	7	1,266	山口県	8	855
= ▼	1	36	+ +	6	533	+ +	6	122
宮城県	1	27	愛知県	16	709	徳島県	0	0
▼ ▼	3	54	▼ ▼	34	912	▼ ▼	1	20
秋田県	1	25	三重県	0	0	香川県	1	20
+ +	0	0	▼ ▼	3	81	+ +	0	0
山形県	1	90	富山県	5	139	愛媛県	2	547
= +	1	60	= +	5	90	+ +	1	130
福島県	0	0	石川県	6	123	高知県	1	76
= =	0	0	+ ▼	3	135	▼ ▼	2	110
茨城県	9	460	福井県	1	10	福岡県	14	2,346
+ ▼	4	1,415	= ▼	1	19	+ +	13	523
栃木県	6	555	滋賀県	3	377	佐賀県	1	20
+ +	3	40	▼ +	4	113	= +	1	13
群馬県	4	148	京都府	9	453	長崎県	2	50
+ +	3	105	+ +	6	64	+ +	1	18
埼玉県	10	367	大阪府	46	1,353	熊本県	2	28
+ +	7	119	▼ ▼	59	1,375	▼ ▼	6	166
千葉県	7	3,886	兵庫県	17	406	大分県	2	61
+ +	5	90	▼ ▼	19	4,439	+ +	1	11
東京都	36	4,599	奈良県	1	32	宮崎県	1	42
▼ +	53	3,619	▼ ▼	6	553	▼ ▼	2	191
神奈川県	10	675	和歌山県	4	47	鹿児島県	1	31
▼ +	15	523	= ▼	4	202	▼ +	2	20
新潟県	4	348	鳥取県	2	250	沖縄県	3	180
▼ +	5	345	+ +	0	0	+ +	1	20
山梨県	0	0	島根県	3	250	合計	270	24,362
= =	0	0	+ +	2	23	▼ +	320	19,422

調査の概要

1. 調査時期 2021年5月下旬（四半期毎実施）

2. 調査方法 郵送アンケート調査（200事業所）

面接聴取調査（106事業所）

3. 調査の対象と回収状況

岐阜市（柳津町を除く）に本社を置く法人企業・個人事業者

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	62	57
卸売業	61	56
小売業	61	53
建設業	61	38
サービス業	61	56
合計	306	260

用語の解説

ディフュージョン インデックス

D. I (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものである。

東京都産業労働局「中小企業の景況調査」より

岐阜商工会議所 岐阜市管内景況調査報告書

2021年6月

発行：岐阜商工会議所

電話 058-264-2133

F A X 058-265-6001

E-mail shien@gcci.or.jp